

- 問1 16世紀のヨーロッパでは宗教改革が起こり、キリスト教のあり方が大きく変化しました。この時期に設立されたイエズス会の宣教師たちが、日本を含むアジア各地で積極的に布教活動を行った理由として、最も適切なものを選択してください。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- 江戸幕府による朱印船貿易の制限に対抗し、キリシタン大名と協力して新しい貿易ルートを独占するため
 - ヨーロッパで勢力を拡大していたプロテスタントに対抗し、海外でカトリックの信者を増やして勢力を立て直すため
 - 鎖国体制下の日本において、キリスト教の教えと日本の伝統的な仏教を融合させた新しい宗教を創るため
 - ポルトガルやスペインの軍事力を背景に、武士の特権を廃止してヨーロッパ型の封建社会を日本に導入するため
- 問2 16世紀の世界において、スペインが支配した領域の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。当時の世界情勢や他国との関係を考慮して答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- アフリカ南端のケープタウンを中継地とし、インド洋から東南アジアに至る海上の交易ルートを独占した。
 - 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。
 - 北アメリカ大陸の東海岸を拠点として、イギリスやフランスの勢力と争いながら広大な植民地を維持した。
 - キリスト教の布教を一切行わず、もっぱら南アメリカ大陸でのサトウキビ栽培を目的として領土を拡大した。
- 問3 16世紀、ポルトガルやスペインなどのヨーロッパ諸国が、危険を冒してまで日本を含むアジアへの新航路を開拓した主な理由として、当時の経済的背景を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- モンゴル帝国の崩壊により、シルクロードを通じた陸路での安全な交通が完全に失われ、生活必需品の輸入が止まったため。
 - 産業革命に必要な石炭や鉄鉱石を確保し、アジア全域を植民地として直接支配するための拠点を築くため。
 - キリスト教の布教のみを目的としており、アジア諸国との貿易による経済的利益は全く期待していなかったため。
 - イスラム商人が仲介していたために価格が高騰していたアジアの特産物を、直接手に入れるため。
- 問4 次の文は、豊臣秀吉が出した刀狩令の目的について述べたものです。文中の空欄に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。「百姓が【 】ことを防ぎ、耕作に専念させるために武器の所持を禁じた。」 (2017年 北海道公立入試 類似)
- 年貢を滞納する
 - 一揆をおこす
 - 自由に商売を行う
 - キリスト教を信仰する
- 問5 1573年に織田信長が当時の将軍を京都から追放したことで、足利氏による約240年続いた武家政権が事実上滅亡しました。このとき追放された将軍の氏名と、滅亡した幕府の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- 足利義昭・鎌倉幕府
 - 足利義満・室町幕府
 - 足利義昭・室町幕府
 - 足利義政・室町幕府
- 問6 豊臣秀吉の天下統一の時期に栄えた桃山文化において、千利休が確立した文化の特色と背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
- 金箔を多用した豪華絢爛な障壁画や、雄大な城郭建築に象徴される権威的な文化。
 - 禅の精神に基づき、狭い茶室の中で無駄を省いた簡素な美を追求する文化。
 - 町衆の経済力を背景に、現世の享楽を肯定する浮世絵や歌舞伎が流行した文化。
 - 武士の質実剛健さを重んじ、軍記物語や浄土新教が広まった力強い文化。
- 問7 豊臣秀吉が発した法令において、農民から刀や鉄砲などの武器を没収する際、農民たちの反発を和らげるために示された「没収した武器の用途」に関する説明として正しいものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- 没収した武器を明などの外国へ輸出し、その利益で飢饉に備えるための米を購入する
 - 鉄砲や槍を農具に作り替え、開墾を進めるための道具として農村へ再配布する
 - 京都に建立する大仏の釘やかすがいなど、宗教的な建造物の材料として利用する
 - 朝廷に献上して武威を示すことで、天皇から全国支配の正当性を認めもらう
- 問8 日本への文化伝来の経緯について、時期の古いものから順番に並べた際、3番目に該当する出来事を選択してください。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- 鎌倉時代に、宋や元からによって宋からの禅宗が伝えられた。
 - 平安時代初期に、最澄や空海によって唐からの天台宗・真言宗がもたらされた。
 - 安土桃山時代に、南蛮貿易などを通じてヨーロッパからの活版印刷術が導入された。
 - 5世紀頃に、朝鮮半島からの渡来人によって漢字、儒教、須恵器などが伝えられた。
- 問9 織田信長などの戦国大名が、キリスト教の布教を許可し、南蛮文化を積極的に受け入れた背景にある理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- 簡素で気品のある桃山文化を否定し、すべての生活様式をヨーロッパ風に統一することで民衆を支配するため。
 - キリスト教の教えが日本の伝統的な仏教勢力と密接に連携していたため、寺社の力を利用しようとした。
 - 南蛮貿易を通じて鉄砲や火薬などの軍事物資を調達し、天文学や医学などの新しい知識を取り入れるため。
 - ヨーロッパ諸国と軍事同盟を結び、中国（明）を征服するための直接的な援軍を求めたため。
- 問10 15世紀末、ポルトガルが危険な航海を経てアフリカ大陸を大きく回り込むインド航路を開拓しようとした経済的な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- 香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため
 - キリスト教を広めるため、アフリカ大陸の内陸部へ進出する拠点を築くため
 - アメリカ大陸で発見された金や銀を安全にヨーロッパへ運ぶため
 - アフリカ大陸の特産品である絹織物をアジア諸国に輸出するため
- 問11 15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルなどのヨーロッパ諸国が航海技術を発展させて海外へ進出した「大航海時代」の影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- 産業革命による工業製品の輸出を目的として、ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を支配下に置いた。
 - スペインがブラジルを植民地としたため、周辺の国々とは異なりブラジルではスペイン語が公用語となっている。
 - 第二次世界大戦後の独立運動により、南アメリカの国々ではヨーロッパ由来の言語が公用語として使用されなくなった。
 - ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。
- 問12 豊臣秀吉は、全国の田畑の面積や土地の良し悪しを調査する「太閤検地」や、農民から武器を没収する「刀狩」を徹底して行いました。これらの政策を通じて、武士と農民の身分を明確に区別し、それぞれの社会的な役割を固定した仕組みを何といいますか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- 廃刀令
 - 土農工商
 - 四民平等
 - 兵農分離

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ヨーロッパで勢力を拡大していたプロテスタントに対抗し、海外でカトリックの信者を増やして勢力を立て直すため	16世紀、ヨーロッパではルターやカルバンによる宗教改革が起こり、プロテスタントの勢力が急速に拡大しました。これに対し、カトリック教会側は自己改革を行うとともに、アジアや中南米といった海外への布教を通じて信者を増やし、教会の勢力を回復しようと考えました。この目的のために設立されたのがイエズス会であり、フランシスコ・ザビエルなどの宣教師が日本を訪れる背景となりました。
問2	答え 2 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。	スペインは、コロンブスが到達したカリブ海を足がかりに、北アメリカ南部から南アメリカ大陸の大部分を支配下におきました。ただし、南アメリカ大陸の東部であるブラジルはポルトガルの領土であったため、スペインの支配には含まれません。また、東南アジアではフィリピンを拠点としており、これらは当時のスペインが「太陽の沈まぬ国」と呼ばれるほどの繁栄を築く基盤となりました。
問3	答え 4 イスラム商人が仲介していたために価格が高騰していたアジアの特産物を、直接手に入れるため。	当時、コショウなどの香辛料をはじめとするアジアの特産物は、イスラム商人が仲介してヨーロッパへ運ばれていたため、非常に価格が高騰していました。ポルトガルやスペインなどの国々は、これらを安く、かつ大量に直接手に入れることを目的として、海路による新航路の開拓に乗り出しました。キリスト教の布教も目的の一つではありますが、その背景には強い経済的動機がありました。
問4	答え 2 一揆をおこす	刀狩の最大の目的は、百姓が武器を持って集団で抵抗する「一揆」を防ぐことにありました。武器を没収することで反乱のリスクを減らし、百姓を農業に専念させて年貢を確実に確保しようとしたのです。
問5	答え 3 足利義昭・室町幕府	織田信長は15代将軍である足利義昭を奉じて京都に入りましたが、後に両者は対立しました。1573年に信長が足利義昭を京都から追放したことにより、足利尊氏が創設して以来続いてきた室町幕府が滅亡しました。足利義満は3代将軍、足利義政は8代将軍です。
問6	答え 2 禅の精神に基づき、狭い茶室の中で無駄を省いた簡素な美を追求する文化。	千利休が完成させた「わび茶」は、当時の支配者層に好まれた豪華で壮麗な文化とは対照的に、不完全なものや簡素なものの中に美を見出すという価値観を持っていました。これは禅の影響を強く受けており、政治的な交渉の場としても機能した茶の湯に、深い精神性を付与しました。豪華な障壁画や城郭は桃山文化の別の側面であり、浮世絵や歌舞伎は江戸時代の町人文化、軍記物語などは鎌倉時代の特徴です。
問7	答え 3 京都に建立する大仏の釘やかすがいなど、宗教的な建造物の材料として利用する	秀吉は刀狩令の中で、没収した武器を方広寺の大仏建立に役立てると説明しました。これにより、武器を差し出すことは現世の安全だけでなく、来世の幸福にもつながるという宗教的な「建前」を用いることで、農民からの抵抗を抑え、円滑に武器を回収しようとする狙いがありました。
問8	答え 1 鎌倉時代に、栄西や道元らによって宋からの禅宗が伝えられた。	日本の外来文化受容は、古代から近世にかけて複数の段階を経て行われました。まず5世紀頃に朝鮮半島からの渡来人が技術や思想を伝え、次に平安初期に遣唐使らによって唐から密教がもたらされました。その後、鎌倉時代には日宋貿易を背景に宋から禅宗が伝わり、安土桃山時代には大航海時代の流れでヨーロッパから活版印刷術などが伝えられるという順序になっています。
問9	答え 3 南蛮貿易を通じて鉄砲や火薬などの軍事物資を調達し、天文学や医学などの新しい知識を取り入れるため。	戦国大名にとって、キリスト教の保護は南蛮貿易による利益を得るための重要な手段でした。貿易を通じて、戦いに不可欠な鉄砲や火薬を安定して入手できるだけでなく、医学や航海術といった高度な西洋知識を取り入れることが、勢力の拡大や領国経営において大きな利点となったためです。
問10	答え 1 香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため	当時のヨーロッパでは、肉の保存や調味料として不可欠な香辛料（コショウなど）の需要が高まっていました。しかし、それまでの陸路や地中海を経由するルートでは、イスラム勢力やイタリアの都市が仲介して高い利益を得ていました。ポルトガルは海路で直接インドへ向かうことで、これらの仲介を排除し、莫大な富を得ることを狙いました。
問11	答え 4 ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。	15世紀末からの大航海時代において、ポルトガルは南アメリカ大陸の東部に到達し、現在のブラジルにあたる地域を植民地としました。南アメリカ大陸の多くの国々がスペインの支配を受けてスペイン語を公用語としているのに対し、ブラジルはポルトガルの支配を受けた歴史的背景から、現在もポルトガル語を公用語としています。産業革命は18世紀後半以降の出来事であり、大航海時代の動機とは異なります。
問12	答え 4 兵農分離	太閤検地によって農民が土地を耕作する権利と年貢を納める義務が確定し、刀狩によって農民から武器が取り上げられました。これにより、戦いを行う武士と、農業に専念して年貢を納める農民という区別が明確になり、近世の身分制度の基礎が築かれました。士農工商は江戸時代の身分秩序を指す言葉であり、廃刀令は明治時代に武士の特権を廃止するために出されたものです。